

障害児の調査項目(5領域20項目)

1. 健康・生活

(1)食事		設問・留意点・特記事項
1	1人で食べることができる	「食事をする際に、大人の支援が必要であるか判断すること。○ 過食、拒食、異食行為、反すうなどがある場合には、「④常に手伝いが必要である」とする。○ 3歳未満の場合には「③一部手伝いがあれば食べられる」又は「④常に手伝いが必要である」とする。○ 場所(自宅と保育所・学校等)によって食事の摂取状況が異なる場合には、食べない状況を基に判断すること。
2	見守りや声掛けがあればできる	
3	一部支援が必要である	
4	常に支援が必要である	
(2)排せつ		設問・留意点・特記事項
1	1人でトイレへ行き、排せつができる	「一人でトイレへ行き、排せつができますか。」 ○ 尿意、便意の表出があるか、トイレでの排泄に関する一連の動作がどの程度行うことができるのか、便座への昇降や姿勢の保持などに介助を要するのか、清潔に対する認識はどの程度か判断すること。○ 3歳未満の場合には「③一部支援を必要とする」「④常に支援が必要である」とする。
2	見守りや声掛けがあればできる	
3	一部支援が必要である	
4	常に支援が必要である	
(3)入浴		設問・留意点・特記事項
1	1人で入浴することができる	「入浴の際には、大人の支援(手伝い)が必要です。」 ○ 入浴に関する一連の行為とは、入浴前の脱衣から、入浴中の行為、入浴後の着衣までの行為をいう。○ 3歳未満の場合には「④常に支援が必要である」とする。
2	見守りや声掛けがあれば入浴することができる	
3	一部支援が必要である	
4	常に支援が必要である	
(4)衣類の着脱		設問・留意点・特記事項
1	1人で衣類の着脱ができる	「着替える時に手伝いが必要です。/ 汚れた時や濡れた時に自ら着替えることができますか。」 ○ 3歳未満の場合には「③一部支援があれば着脱衣ができる」「④常に支援が必要である」とする。
2	見守りや声掛けがあれば衣類の着脱ができる	
3	一部支援が必要である	
4	常に支援が必要である	

右の設問に対し、該当するものに○もしくは✓をつけてください。
もし、ご判断に迷う場合は、判断項目をご参照ください。

(1)～(20)までお答えください。
中学生以上の方は、(21)～(23)までご回答ください。

2. 感覚・運動

(5)感覚器官(聞こえ)		設問・留意点・特記事項
1	特に問題なく聞こえる	「物の音や人の声が聞こえていますか。」
2	補聴器などの補助装具があれば聞こえる	
3	聞き取りにくい音がある/過敏等で補助装具が必要である	
4	音や声を聞き取ることが難しい	
(6)感覚器官(口腔機能)		設問・留意点・特記事項
1	噛んで飲み込むことができる	「食べ物をよく噛んで飲み込むことができますか。」 ○ 咀嚼・嚥下の状態や食材の形態に違いがあるかを確認すること。○ 口腔機能について、機能上の課題があるかどうかを判断すること。
2	柔らかい食べ物を押しつぶして食べることができる	
3	解除があれば口を開き、口を閉じて飲み込むことができる	
4	哺乳瓶などを使用している/口から食べることが難しい	
(7)姿勢の保持(座る)		設問・留意点・特記事項
1	1人で座り、手を使って遊ぶことができる	「一人で座り、手を使って遊ぶことができますか。」 ○ 座位は臀部が床(座面)に接地しており、横座り、割座、胡坐、投げ出し座りなど、こども本人が可能な方法で良い。
2	手で支えて座ることができる	
3	身体の一部を支えると座ることができる	
4	座るために全身を支える必要がある	
(8)運動の基本技能(目と足の協応)		設問・留意点・特記事項
1	ケンケンが3回以上できる	「階段昇降・ジャンプ・ケンケンができますか。」
2	交互に足を出して階段を昇り・降りできる	
3	両足同時にジャンプし、転倒せずに着地できる	
4	階段は同じ足を先に出して昇る	
5	どの動きも難しい	
(9)運動の基本的技能(移動)		設問・留意点・特記事項
1	1人で歩くことができる	「一人で歩いて移動することができますか。」 ○ 補装具等の福祉用具を使用している場合は、使用している状況に基づき判断するものとするが、必要な配慮等について十分に聴き取り判断をすること。
2	1人で歩くことはできるが近くでの見守りが必要である	
3	1人で歩くことができるが、手をつなぐなどのサポートや杖・保護防などの補助具が必要	
4	1人で歩くことが難しい	

3. 認知・行動

(10)危険回避行動		設問・留意点・特記事項
1	自発的に危険を回避することができる	「危険なことがわかり、気をつけることができますか。」
2	声掛け等があれば危機を回避することができる	
3	危険を回避するためには、支援者の介入が必要である	
(11)注意力		設問・留意点・特記事項
1	集中して取り組むことができる	「話を聞く場面や物事に取り組む際に、気が散りやすく集中できないことがありますか。」
2	部分的に集中して取り組むことができる	
3	集中して取り組むことが難しい	

(12)見通し(予測理解)			設問・留意点・特記事項
	1	見通しを立てて行動することができる	「見通しを立てて、行動をすることができますか。」
	2	声掛けがあれば見通しを立てて行動することができる	
	3	視覚的な情報があれば行動することができる	
	4	その他の工夫が必要	
(13)見通し(急な変化対応)			設問・留意点・特記事項
	1	急な予定変更でも問題ない	「急な予定の変更があった場合、対応することができますか。」
	2	声掛けがあれば対応できる	
	3	視覚的な手掛かりがあれば対応できる	
	4	その他の工夫やサポートが必要	
(14)その他			設問・留意点・特記事項
	1	乱暴な言動はほとんどみられない	「突然、自分や相手に対して乱暴な言動をとるときがありますか。」
	2	乱暴な言動がみられるが、対処方法がある	
	3	乱暴な言動がみられ、対処方法も特にない	

4. 言語・コミュニケーション

(15)2項関係(人対人)			設問・留意点・特記事項
	1	目が合い、微笑むことや、嬉しそうな表情をみせる	「楽しいときなどに、目を合わせるがありますか。」
	2	訴えている(要求する)ときは目が合う	
	3	あまり目が合わない/合っても持続しない	
	4	ほとんど目が合わない	
(16)表出(意思の表出)			設問・留意点・特記事項
	1	言葉を使って伝えることができる	「どんな方法で意思を伝えますか。」
	2	身振りで伝えることができる	
	3	泣いたり怒ったりして伝える	
	4	意思表示が難しい	
(17)読み書き			設問・留意点・特記事項
	1	支援が不要	「読み書きについて支援が必要ですか。」
	2	支援が必要な場合がある	
	3	常に支援が必要	

5.人間関係・社会性

(18)人との関わり(他者への関心興味)			設問・留意点・特記事項
	1	自分から働きかけたり、相手からの働きかけに反応する	「親、友だち、支援者とやりとりをすることや、相手からの働きかけに応えることができますか。」
	2	ごく限られた人であれば反応する	
	3	自分から働きかけることはほとんどないが、相手からの働きかけには反応することもある	
	4	過剰に反応する、または全く反応しない	
(19)遊びや活動(トラブル頻度)			設問・留意点・特記事項
	1	ほとんどないか、あっても自分たちで解決できる	「同年代のこどもと一緒に過ごす中で、トラブルが起こることがありますか。」
	2	トラブルがあっても、大人の支援があれば解決できる	
	3	支援が合っても、解決できる場面とできない場面がある	
	4	トラブルが頻繁に起き、解決することも難しい	
(20)集団への参加(集団参加状況)			設問・留意点・特記事項
	1	指示やルールを理解して最初から最後まで参加できる	「集団活動に参加することができますか。」
	2	興味がある内容であれば部分的に参加できる	
	3	支援があればその場にはいられる	
	4	参加することが難しい	

以下、中学生・高校生のみ対象

コミュニケーション

(21)コミュニケーション(言葉遣い)			設問・留意点・特記事項
	1	適切な言葉遣いや態度で表現することができる	「自分の気持ちを伝える際に、相手や場所、場面に合わせた言葉遣いや態度をとることができますか。」
	2	時折、適切な言葉遣いや態度で表現することができる	
	3	ほとんど適切な言葉遣いや態度で表現することが難しい	
	4	適切な言葉遣いや態度で表現することが難しい	
(22)コミュニケーション(やり取り)			設問・留意点・特記事項
	1	やり取りをすることができる	「自分のことを伝えるだけではなく相手の話を聞く、又は聞くとうしますか。」
	2	配慮があればやり取りできる/やり取りをしようとする	
	3	やり取りをすることが難しい	
(23)コミュニケーション(集団適応力)			設問・留意点・特記事項
	1	参加することができる	「同年齢の集団に所属し、集団のルールや相手の感情を察知・理解して遊ぶことや、活動に参加することができますか。」
	2	たまに参加することができる	
	3	ほとんど参加することがない	
	4	参加することが難しい	